

都市自治体におけるスポーツを 活用した地域振興に関する研究会 概要

2024年5月

第1回 都市自治体におけるスポーツを活用した地域振興に関する研究会

(公財) 日本都市センター研究室

研究会の設置趣旨

● 背景・問題意識

- ① 都市自治体においては、少子高齢化・地域コミュニティの希薄化・人口減少・地元産業の衰退・超高齢化社会の到来による医療費の増大など、様々な問題を抱えている。
- ② 都市自治体の抱える様々な課題を解決し、地域振興を図る手段として、楽しさ・喜び・感動・他者との連帯感など、スポーツが持つ要素・効果を積極的に活用する取組みが全国各地の都市自治体で行われている。
- ③ 都市自治体において、スポーツを活用した地域振興を実現していくためには、その地域の強み・特徴を行政が適切に把握し、いかに支援しマネジメントしていくかが求められている。

- **スポーツを活用した地域振興に加え、その活用の仕方、活用のための仕組みづくりについて、都市自治体におけるスポーツを活用した地域振興の今後のあり方を探り、地域課題解決の糸口を模索する都市自治体の一助となるよう、調査研究を実施する。**

【参考】 関連する過去の調査研究

● 都市自治体におけるツーリズム行政に関する研究会 （2020年度）

- ・ 従来の自治体の観光行政のあり方や観光政策の取組みを一步進めるためにはどうするべきかという中長期的な問題意識に立ち議論を展開した。

（ヒアリング先） 岩手県釜石市、岡山県倉敷市、青森県八戸市

● 地域産業の展開に向けた都市自治体の施策に関する研究会 （2021年度）

- ・ 「地域に根差した産業」に焦点をあてながら、今後の地域産業の展開と先行事例の調査を踏まえて、都市自治体が取組むべき施策とその進め方について検討を行った。

（ヒアリング先） 静岡県富士市、茨城県笠間市、富山県高岡市

論点（案）

①地域振興の手段としてのスポーツの可能性

- ・ 都市自治体がスポーツを活用した地域振興に取り組む意義
- ・ 地域独自のスポーツ政策の必要性 等

②スポーツを活用した地域振興における都市自治体のあり方

- ・ 国・都道府県や市民、民間団体との連携
- ・ 都市自治体の体制（組織・人材・専門性・役割分担） 等

③地域振興にスポーツを活用する際の課題

- ・ 無関心層への対応・理解
- ・ 地域住民の負担（交通規制・騒音等） 等

④持続可能なスポーツを活用した地域振興に向けて

- ・ 将来に渡り継続・定着するための仕組み
- ・ 公民連携の効率的な公共施設マネジメント 等

調査手法（案） ・ 成果物

● 調査手法（案）

① 研究会での意見交換

- ・ 委員からの話題提供
- ・ ゲストスピーカーの招聘

② 先進自治体・関係機関へのヒアリング調査

③ 都市自治体へのアンケート調査

● 成果物

本調査研究成果をまとめ、2025年3月に報告書を刊行予定

スケジュール（案）

日程	事項	内容
5月28日（火）	第1回研究会	顔合わせ、研究会の進め方、論点、ヒアリング調査先、ゲストスピーカーの検討、アンケート内容の検討
7月3日（水）	第2回研究会	黒崎委員・松野委員からの話題提供、アンケート内容の決定
7月～8月 （予定）	第3回研究会	委員・ゲストスピーカーからの話題提供
8月～9月 （予定）	第4回研究会	ゲストスピーカーからの話題提供
10月～11月 （予定）	第5回研究会	報告書の全体構成・執筆分担の検討、ゲストスピーカーからの話題提供、アンケート結果の分析
12月 （予定）	最終研究会	報告書原稿読み合わせ
2025年 1月	原稿締切り	
2025年 3月	報告書刊行	

※ヒアリング調査は7月～10月にかけて実施、調査報告については適宜実施する。